

組織・機構改革について

問 新設対等合併という基本を踏まえ、地域の要望、意向を尊重したまちづくりにあたるとのことだが、

それには組織、機構改革が必要と思われる。効率的な行政運営、職員の意識改革、事務事業の目標管理を行なうために、市長は具体的どのような改革を行なうのか。また、真の改革ができると思うグループ制の導入をしてはどうか。

答 すべての事業の一元化や各部の事務量の調整による部の再編、新架橋事業など一時的な事務量の増加への対応など、市民にわかりやすく、効率化が図れる組織、機構を来年四月から施行できるよう改革を進めたい。グループ制の導入は、真に頑張る人が報われる組織、制度改革を本市独自でも十分検討していきたい。

このほか、高齢者支援、健康づくり、総社駅前広場の活用について質問されています。

小原 弘

柿木提内本線(旧村道3号線)の改良計画について

問

合併協議の中で幹線道路については、新市の一体性を高める道路として積極的に整備すると言われている。この道路は交通量



早急な整備が必要な柿木提内本線 (旧村道3号線)

答

も多い上、対向車との離合も難しく特に生徒の通学路にもなっており、安全性を考えて道路の拡張、歩道の整備が早急に必要である。また、清音神在本線の市道認定承諾時の村議会議決の条件でもあり、今後の計画の中で着工あるいは完成時期はいつ頃になるのか。

服部 剛司

市長の政治姿勢について

問

市長は、市民主役のまちづくりといいながら今だに市民の方に向いていない。市民本位というなら、市民から選ばれた43名の合議制の議会にまず相談すべきである。接戦を制した後の市民本位の行政をどのように考えるか。そして、助役、収入役の考え方を議会になぜ言わないか。また、本市の基本計画がないままに、合併協定によるまちづくり計画のみで施策を進めるのはおかしいのではないか。

コスト削減、組織のスリム化、定員管理などの中で

架橋のみの説明はなぜか。

答

合併した三市村の市民が合併してよかったと、行政に対する信頼が得られるよう努力したい。助役、収入役については、市民本位の行政を貫き、この1年間少なくとも市民からの要望に答えることが最優先課題と考え、いなくても我慢はすると申し上げている。合併協議会で新市まちづくり計画を策定しており約束した事項は守っていく。今後、新市まちづくり計画を基本に総合計画、実施計画を定めていく。架橋は既に交付金が内定している部分のみ説明し、その他は具体化できる見込みがつき次第説明したい。

剣持 堅吾

合併協議会から合併、そして現在について

問

市長は、合併してよかったと思える町にしたいと発言されている。しかし、合併協議会での総社市の例による調整は多く